

2025年度

事業報告書

学校法人安達学園
中京高等学校

目 次

I. 法人の概要

- I－1. 法人名・設置する各学校名及び所在地
- I－2. 学校法人安達学園 中京高等学校 教育理念
- I－3. 学校法人の沿革
- I－4. 設置する学校・学科等
- I－5. 当該学校・学科等の入学定員、入学者数、学生数の状況
- I－6. 役員・教職員の概要

II. 事業の概要

- II－1. 教育活動について
- II－2. 特別活動について
- II－3. 生徒募集について
- II－4. 施設・設備について
- II－5. 新規事業について

III. 財務の概要

- III－1. 貸借対照表
- III－2. 事業活動収支計算書
- III－3. 資金収支計算書

I. 法人の概要

1-1. 法人名・設置する各学校名及び所在地

学校法人名	学校法人 安達学園
設置学校名	中京高等学校
理事長名	安達 弘城
校長名	平中 亮太
法人設立認可年月日	昭和 37 年 12 月 28 日
郵便番号	509-6101
所在地	岐阜県瑞浪市土岐町 7074-1
電話番号	0572-68-4501

I-2. 学校法人安達学園 中京高等学校 教育理念

	全日制課程	通信制課程
建学の精神	学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ	
校訓	真剣味 ・ 真善美	
基本理念	協働と貢献による自己実現の追求	多様な価値と個性の尊重
ビジョン	地域で愛される「全国区」	多様なニーズに応える柔軟な学び
ミッション	学術とスポーツを通じて「実践力」を育み、 将来地域社会や国際社会で核となる人材 の輩出	個々のスタイルに合わせた自律的な学習能力 の育成
育成する力	4 つの力と 11 の要素 ※1	
アドミッション ポリシー	全日制課程の理念に共感し、4 つの力と 11 の要素の獲得を志す者に門戸を開く	通信制課程の理念に共感し、4 つの力と 11 の要素の獲得を志す者に門戸を開く
カリキュラム ポリシー	4 つの力と 11 の要素を授業、行事、部活 動を通じて育成する	4 つの力と 11 の要素をレポート、スクーリング、 試験などを通じて育成する
グラデュエーショ ンポリシー	4 つの力と 11 の要素を獲得して、将来の夢を実現させるために、次の進路に進むことができる 者に卒業証書を授与する	

※1 4 つの力と11の要素

思考力	行動力	コミュニケーション力	セルフモチベーション力
リフレクション力	挑戦力	規律性	主体性
計画性	貫徹力	傾聴力	まごころ力
想像力		表現力	
		フレンドシップ力	

I-3. 学校法人の沿革

昭和 37 年 12 月 28 日	学校法人安達学園の設立認可
昭和 38 年 4 月 1 日	中京高等学校開校
昭和 41 年 4 月 1 日	中京短期大学 家政科・保育科開学
昭和 42 年 4 月 1 日	中京幼稚園開園 中京短期大学の家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離 中京アカデミー開校
昭和 42 年 6 月 17 日	中京高等学校を中京商業高等学校に校名変更
昭和 43 年 4 月 1 日	中京商業高等学校に全日制課程体育科増設
昭和 45 年 4 月 1 日	中京短期大学 別科調理専修設置
昭和 48 年 4 月 1 日	中京短期大学保育科を中津川市千旦林 1-104 に移転
昭和 61 年 4 月 1 日	中京短期大学に経営学科を増設 中京短期大学家政科を生活学科、家政専攻を生活文化専攻に 名称変更
平成 2 年 4 月 1 日	中京短期大学保育科を瑞浪校地へ、経営学科を中津川校地へ移転
平成 5 年 4 月 1 日	中京学院大学開学
平成 6 年 3 月 31 日	中京短期大学 経営学科廃止
平成 9 年 4 月 1 日	中京学院大学 編入学定員設置
平成 12 年 11 月 21 日	中京商業高等学校を中京高等学校に校名変更
平成 17 年 3 月 31 日	法人所在地を瑞浪市より中津川市に移転
平成 17 年 4 月 1 日	中京学院大学 別科日本語専修課程開設
平成 19 年 4 月 1 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科開設 中京短期大学 生活学科、生活文化専攻の募集停止
平成 20 年 4 月 1 日	中京短期大学 生活学科を健康栄養学科に名称変更
平成 21 年 4 月 1 日	中京学院大学 別科日本語専修課程の定員増
平成 22 年 3 月 31 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科の募集停止
平成 22 年 3 月 31 日	中京短期大学 別科調理専修募集停止
平成 22 年 4 月 1 日	中京学院大学 看護学部看護学科を瑞浪キャンパスに開設 中京短期大学を中京学院大学中京短期大学部に名称変更 中京学院大学中京短期大学部 健康栄養学科、保育科、 別科調理専修の定員減
平成 22 年 7 月 6 日	法人所在地を中津川市より瑞浪市に移転
平成 23 年 3 月 31 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科廃止 中京学院大学中京短期大学部 別科調理専修廃止 中京高等学校 全日制課程体育科廃止
平成 24 年 4 月 1 日	中京高等学校 通信制課程(広域)普通科を開設
平成 29 年 4 月 1 日	中京学院大学中京短期大学部を中京学院大学短期大学部に名称変更
平成 29 年 4 月 1 日	中京高等学校を中京学院大学附属中京高等学校に名称変更
令和元年 9 月 6 日	学校法人中京学院(設立準備室)設置認可
令和元年 9 月 20 日	学校法人中京学院 法人設立登記
令和 2 年 4 月 1 日	学校法人中京学院開設(中京学院大学・同短期大学部・中京幼稚園) 学校法人安達学園は高校単独法人へ 中京学院大学附属中京高等学校を中京高等学校に名称変更
令和 4 年 3 月 31 日	中京高等学校全日制商業科廃止
令和 5 年 4 月 1 日	通信制課程「Open Terrace 縁側」を開設
令和 6 年 4 月 1 日	「多治見ブランチ(Open Terrace 縁側)・ゲートテラス探究」を開設

I－4. 設置する学校・学科等

設置学校名	学部・課程名	学科	開設年度
中京高等学校	全日制課程	普通科	昭和 38 年度
		商業科	昭和 38 年度
	通信制課程	(広域) 普通科	平成 24 年度

I－5. 当該学校・学科等の入学定員、入学者数、学生数の状況

(2025 年 5 月 1 日現在)

設置学校名	学部・課程名	学科	入学定員	入学者数	定員	現員
中京高等学校	全日制課程	普通科	480	395	1,455 ※募集定員	1,152
	通信制課程	(広域) 普通科	－	192	1,000 ※収容定員	736

I－6. 役員・教職員の概要

理事・監事

(2026 年 3 月末現在)

理事・監事の区分	氏名	常勤 非常勤 の区分	主たる職業	選任条項
理事 理事長	安達 弘城	常勤	学校法人安達学園理事長	第 7 条 2 号
理事	平中 亮太	常勤	中京高等学校校長	第 7 条 1 号
理事	小栗 久美子	非常勤	(株)日吉ハイランド取締役	第 7 条 2 号
理事	加藤 璃帆子	非常勤		第 7 条 2 号
理事	梅村 忠直	非常勤	梅村法律事務所所長・弁護士	第 7 条 2 号
理事	松下 邦雄	非常勤		第 7 条 2 号
監事	加藤 東衛	非常勤	三郷陶器(株)代表取締役会長	第 22 条
監事	酒井 良郎	非常勤	(株)マルエス産業取締役会長	第 22 条

評議員

(2026 年 3 月末現在)

氏名	主たる職業	選任条項	
		条および号	選任区分
小栗 宗一	中京高等学校全日制課程教頭	第 31 条 1 号	法人職員
島氏 圭介	中京高等学校通信制課程教頭	第 31 条 1 号	法人職員
稲垣 克三	(株)丸三ポンプ工業所代表取締役	第 31 条 2 号	卒業者
渡邊 芳浩		第 31 条 2 号	卒業者
水野 光二	瑞浪市長	第 31 条 3 号	学識経験者

小川 祐輝	岐阜県議会議員	第 31 条 3 号	学識経験者
清水 伸太郎	関東港業株式会社代表取締役社長	第 31 条 3 号	学識経験者

教職員数

(2025 年 5 月 1 日現在)

区分	中京高等学校		合計
	全日制課程	通信制課程	
教諭	61	7	68
養護教諭	2	0	2
常勤講師	9	1	10
非常勤教諭	33	6	39
事務職員	13	2	15
非常勤職員	3	1	4
合計	121	17	138

Ⅱ. 事業の概要

Ⅱ－1. 教育活動について

全日制課程では、2024 年度より導入した新たな選抜体制において 3 学年が揃い、各選抜の特色を生かした教育活動を展開することができました。また、今年度より総合選抜の募集を停止し、次年度からは国際選抜の募集停止を予定していることから、名大選抜・特進選抜・アスリート選抜・リベラルアーツ選抜(文理専攻・看護専攻・幼児教育専攻・IT 専攻)の体制へと移行し、より充実した教育活動の展開に向けた準備を進めました。

ICT 教育においては、既存教材の精査を進めるとともに、「スクール AI」をトライアルで採用し、活用方法について研究を進めました。2026 年度からは 3 年生の総合探究において導入し、進路学習や志望動機作成等への活用を図る体制を整えることができました。また、学び直しに取り組むアスリート選抜およびリベラルアーツ選抜の 1 年生に対しても、新たな学習教材「すらら」をトライアル導入し、2026 年度からの 1・2 年生への本格導入につなげることができました。

地域連携教育においては、域学連携協定を結ぶ瑞浪市との連携を継続し、瑞浪市議会議員との交流を通じた有権者教育を展開し、地域社会と関わる学びの充実を図ることができました。その他、各種地域ボランティア活動に加え、「ミライ創ろまい課」を中心とした特産品開発やイベントの企画・運営を実施しました。具体的な取り組みは以下の通りです。

〈全日制課程〉

- ・特任講師 (focus gold 著者竹内英人先生、ベストセラー作家後藤武士先生) による授業を展開。
- ・ハイレベルな塾講師による進学指導および大学生による放課後講習の展開。
- ・国際選抜カナダ長期留学、総合選抜フィリピン短期留学の実施。
- ・リベラルアーツ選抜においてアラカルト方式の総合探究授業の実施。
- ・「スタディサプリ到達度テスト」を CBT にて実施。「実力診断テスト」を実施。
- ・瑞浪市役所「ミライ創ろまい課」に 64 名が所属(昨年度 53 名)。特産品開発、各種イベントの企画・運営を実施。活動内容を「マイプロジェクトアワード」で発表。
- ・地域貢献活動の範囲を瑞浪市以外の恵那市・土岐市・多治見市でも展開。
- ・美濃源氏七夕祭りへのボランティア参加で、市役所と商工会議所より感謝状を授与。
- ・バサラカーニバル全校参加。

〈通信制課程〉

- ・SC コース(少人数向け)の卒業生対象とした進路指導
- ・東京都、兵庫県に面接指導施設として3施設展開。
- ・大学受験特化型のサポート校と提携。
- ・サポート校と協力した進路指導により、進学・就職指導をより手厚い支援が可能。

※進学実績 全日制課程、通信制課程ともに別紙参照。

Ⅱ－2. 特別活動について

校技である硬式野球部は、第 107 回全国高校野球選手権岐阜大会において準決勝に進出しましたが、準決勝で敗退し、甲子園出場はかないませんでした。しかしながら、他のクラブに目を向けると、軟式野球部が全国高校軟式野球選手権大会で大会史上初となる 4 連覇を達成。および国民スポーツ大会を制し、2 年連続で二冠を達成するなど、全国的に見ても顕著な成績を収めました。また、弓道部、ソフトテニス部、ボクシング部、ウェイトリフティング部、スケート部なども東海大会・全国大会において成果を挙げ、生徒一人ひとりの努力が学校全体の活力につながる年度となりました。

さらに、特別活動においては、6 月に文化部発表会として「中京フェス」を実施し、文化部の発表機会を拡充。文化部のイベント参加数は昨年度比で約 2 倍に増加し、校内外での活動の幅が大きく広がりました。加えて、労作活動を従来行事と連携して実施することで、校内の活性化と生徒の主体的な参加意識の向上を図りました。生徒会長選挙においても、立候補者・応援者・有権者それぞれが学校づくりについて考える機会となり、リーダーシップの醸成につながりました。

詳細は下記のとおりです。

- ・軟式野球部・・・全国高校軟式野球選手権大会優勝(4 冠)、国民スポーツ大会優勝(2 冠)。
- ・弓道部・・・東海総体男子団体優勝。7 年ぶり 6 回目の優勝。
- ・レスリング部・・・小川璃苑が U17 アジア選手権日本代表に選出。
- ・ソフトテニス部・・・東海高等学校選抜大会団体優勝。個人、吉田・加藤ペアが優勝。
- ・ボクシング部・・・東海高校総体で 3 名が個人優勝。全国高等学校総合体育大会で個人 2 位。
- ・ウェイトリフティング部・・・東海大会で個人優勝。大会新記録を樹立。
- ・スケート部・・・国民スポーツ大会出場、3000m で 7 位、リレーで 6 位に入賞。
- ・特別活動・・・文化部発表会「中京フェス」を実施。文化部イベント参加数は昨年度比 2 倍増加。
- ・労作活動・・・労作活動を従来行事と連携して実施し、校内活性化を推進。
- ・生徒会活動・・・主体性、リーダーシップの醸成。学園祭をはじめとする学校行事活性化。

Ⅱ－3. 生徒募集について

各中学校での高校説明会を皮切りに、夏季・秋季オープンスクール、出張型個別相談会など、年間を通じて多様な広報活動を計画的に実施し、魅力ある運営と発信を行うことができました。特に夕方開催の出張型個別相談会では、全日制と通信制が一丸となり自覚と責任を持ってきめ細かな対応を行い、学校としての信頼向上に寄与したと考えられます。また、チラシやパンフレットの配布など、全日制と通信制の融合広報の取り組みも一定の成果を上げ、学校全体として統一感のある情報発信を行うことができました。

SNS 関係では Instagram のフォロワー数・閲覧数が大きく伸び、多くの人々に「中京高等学校」の情報を届けることができました。HP についてはリニューアルを完了し、ニューストピックスや見学会情報の発信を計画的に行いました。

入試状況については、合格者 425 名、併願受験者 569 名という結果となりました。現状を踏まえると、本校の広報戦略を今一度見直し、すべての数値の増加を目指す必要があります。また、名大選抜の入学者数は 9 名に留まり、総合・国際の募集停止も重なり、3 つの選抜の募集人数増加という目標は達成できませんでした。これらの状況から、広報活動の改善だけでなく、学校内部の運営改革も求められていることが明らかとなりました。詳細は下記のとおりです。

- ・「個別相談会」を 1 月、に新規取り組みとして恵那・中津川・本校会場にて開催。
- ・「個別相談会」を 11 月に東濃 5 市で開催。新規取り組みとして多治見ランチ・本校会場での開催回数を増加。
- ・SNS (Instagram) フォロワー数を 7,500 人に増加。
- ・SNS の運用を強固なものにするため定期的に会議を重ね、投稿内容の方向性を統一。
- ・受験会場の見直しを図り、一般入試は「本校」「恵那」会場の 2 会場運営を実施。
- ・全日制課程、通信制課程合同で地域情報誌にチラシを掲載。
- ・東京都、兵庫などにサポート校や面接指導施設を開拓。
- ・名古屋の合同説明会にサポート校と協力して参加し、本校とサポート校の認知を高めた。

Ⅱ－4. 施設・設備について

昨年度に引き続き「環境整備の日」を2日間設け、教職員による環境美化および整備を実施しました。日頃の清掃では対応が難しい箇所を重点的に清掃し、教職員の環境意識の向上にもつながりました。施設面では、校内の水道設備の老朽化に伴う整備を行うとともに、熱中症対策として製氷機を新たに設置しました。また、寮においても長年手を入れられなかった設備の改修を進め、生活環境の改善を図りました。さらに、教育環境の充実に向けて以下の整備を行いました。

- ・吹奏楽部の楽器購入(学校特色化支援事業補助金)
- ・ソフトテニス場の人工芝張替え
- ・製氷機の設置(学校、剣壽館)
- ・剣壽館の加圧ポンプ交換およびトレーニングルームのエアコン更新
- ・硬式野球部の屋内練習場および洗濯物干場の修繕

Ⅱ－5. 新規事業について

5月22日に開催された学校法人安達学園の理事会および評議員会において、「不動産の購入および新規事業について」の議案が承認されました。具体的には、東濃厚生病院の土地・建物の購入と、中学校の設置を進めることが決定されました。

6月16日には東濃厚生病院との間で土地・建物購入に関する覚書を締結し、高校の移転および中学校設置に向けたプロジェクトが本格的に始動しました。12月までに新校舎の基本設計と概算事業費がまとまり、県私学振興課との協議を重ねた結果、中学校設置計画書の提出に至りました。その後、1月には施工業者および設計士が決定し、3月23日の私学審議会において中京中学校の設置が「妥当」と判断されました。2026年度は校舎移転および中学校設置の前年度にあたりますが、2025年度中に必要な準備を概ね完了することができました。

Ⅲ. 財務の概要

Ⅲ－1. 貸借対照表

(単位 千円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増	減
固定資産	2,071,486	2,140,659	△	69,172
有形固定資産	2,056,198	2,125,509	△	69,310
土地	908,573	908,573		0
建物	1,000,882	1,060,959	△	60,076
その他有形固定資産	146,742	155,976	△	9,234
特定資産	0	0		0
その他の固定資産	15,287	15,149		137
流動資産	1,560,196	1,499,948		60,247
現金預金	1,503,766	1,409,451		94,315
その他流動資産	56,429	90,497	△	35,086
資産の部合計	3,631,682	3,640,608	△	8,925
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増	減
固定負債	80,795	105,177	△	24,382
長期借入金	74,975	94,979	△	20,004
その他固定負債	5,820	10,198	△	4,378
流動負債	214,803	164,784		50,018
短期借入金	20,004	20,004	△	0
その他流動負債	194,799	144,780		50,018
負債の部合計	295,598	269,962		25,636
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増	減
基本金	4,614,520	4,550,874		63,646
第1号基本金	4,506,520	4,442,874		63,646
第4号基本金	108,000	108,000		0
繰越収支差額	△ 1,278,436	△ 1,180,228	△	98,207
純資産の部合計	3,336,083	3,370,645	△	34,561
負債及び純資産の部合計	5,147,890	5,156,816	△	8,925

Ⅲ－2. 事業活動収支計算書

(単位 千円)

科 目		予算額	決算額	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部				
	学生生徒等納付金	865,936	959,001	△	93,065
	手数料	20,090	21,772	△	1,682
	寄付金	15,000	16,677	△	1,677
	経常費等補助金	466,228	523,403	△	57,175
	(国庫補助金)	6,000	9,398	△	3,398
	(地方公共団体補助金)	460,228	514,005	△	53,777
	付随事業収入	193,464	103,936		89,528
	雑収入	14,600	27,078	△	12,478
	教育活動収入計	1,575,319	1,651,870	△	76,550
	事業活動支出の部				
	人件費	774,581	835,829	△	61,248
	教育研究経費	561,745	507,149		54,595
	管理経費	263,572	293,711	△	30,139
	徴収不能額等	700	0		700
	教育活動支出計	1,600,599	1,636,690	△	36,091
	教育活動収支差額	△	25,279	△	40,459
教育活動外収支	事業活動収入の部				
	受取利息・配当金	150	1,370	△	1,220
	その他の教育活動外収入	0	0		0
	教育活動外収入計	150	1,370	△	1,220
	事業活動支出の部				
	借入金等利息	1,150	677		472
	その他の教育活動外支出	0	0		0
	教育活動外支出計	1,150	677		472
教育活動外支出差額	△	1,000	△	1,693	
経常収支差額	△	26,279	△	42,153	
特別収支	事業活動収入の部				
	資産売却差額	0	0		0
	その他の特別収入	0	49	△	49
	特別収入計	0	49	△	49
	事業活動支出の部				
	資産処分差額	10	0		10
	その他の特別支出	0	50,484	△	50,484
	特別支出計	10	50,484	△	50,474
	特別収支差額	△	10	△	50,424
	〔予備費〕	0			0
	基本金組入前当年度収支差額	△	26,289	△	34,561
	基本金組入額合計	0	△	63,646	63,646
当年度収支差額	△	26,289	△	98,207	
前年度繰越収支差額	△	1,718,156	△	1,180,228	
基本金取崩額	0	0		0	
翌年度繰越収支差額	△	1,744,446	△	1,278,436	
(参考)					
事業活動収入計		1,575,469	1,653,290	△	77,821
事業活動支出計		1,601,759	1,687,852	△	86,093

Ⅲ－3. 資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金収入	850,576	959,001	△ 108,425
手数料収入	20,090	21,772	△ 1,682
寄付金収入	15,000	16,677	△ 1,677
補助金収入	466,228	523,403	△ 57,175
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	208,824	103,936	104,888
受取利息・配当金収入	150	1,370	△ 1,220
雑収入	14,600	24,070	△ 9,470
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	45,000	46,180	△ 1,180
その他の収入	115,255	118,310	△ 3,054
資金収入調整勘定	△ 95,404	△ 64,159	△ 31,244
前年度繰越支払資金	865,623	1,409,451	
収入の部合計	2,505,944	3,160,016	△ 654,071
科 目	予算額	決算額	差 異
人件費支出	774,581	837,725	△ 63,144
教育研究経費支出	465,395	437,337	28,058
管理経費支出	239,342	255,848	△ 16,505
借入金等利息支出	1,150	677	472
借入金等返済支出	20,004	20,004	0
施設関係支出	200	21,450	△ 21,250
設備関係支出	23,310	16,891	6,418
資産運用支出	0	432	△ 432
その他の支出	53,674	127,405	△ 73,731
資金支出調整勘定	△ 10,774	△ 61,521	50,747
翌年度繰越支払資金	939,061	1,503,766	△ 564,705
支出の部合計	2,505,944	3,160,016	△ 654,071

以上